

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 15 日

事業所名 みらいちむぐる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			ベランダが広く部屋数も多い為、活動によって部屋を分けている	
	2	職員の配置数は適切である	1	3	1		利用児童の安全面に考慮して職員の配置に努めていきたいと思ひます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		1	4		2Fのため階段があるが、フロア内は段差がないためバリアフリーになっています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		職員間で話し合いを週2、行っています	日々の業務内容や活動の様子などを職員間で共有しながら、今後の支援に努めて行きたいと思ひます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	4			保護者の意見も参考にしながら、業務改善に努めていきたいと思ひます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2			今年開所だった為、今年から自己評価をホームページで公開します
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2		現在、外部評価はおこなっていません
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1			研修の情報は得ているが、今現在は、時間の確保が難しいです
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			送迎時、保護者から情報収集をしています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				毎週、お子様の様子や状況を話し合うようにしています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1			その日のお子様の様子や発達に合わせてプログラムを展開しています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		長期休暇だからこそこできる体験を提供しています	利用者の個々の特性や変化などに合わせて工夫していきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			日々の状況によって対応しています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		職員間で話し合い、臨機応変に対応しています	より良いサービスの向上に向けて職員間での話し合う時間づくりに努めています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		1	記録のみではなく、職員間で共有するようにしています	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1			毎回、利用日誌にお子様の様子を記録し、職員間で共有できるようにしています
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			半年に一度モニタリングを行っています		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5			行事予定表をコピー したり、下校時間の 確認などを学校と連 絡をとって共有してい ます	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	2	3			相談員、保護者と情報共有を行いながら、主治医指示 書をもとに訪問看護師と連絡をとっています
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	1			相談員、保護者と情報交換に努めています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	3	2			現在、卒業生が1人のため他機関との情報共有に努め たいと思います
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	1	1	医療的ケア児受け入 れの際、他機関と情 報交換をしています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1		4		公共施設などを利用し活動する場面はあるが、交流ま でに至っていないため、今後、状況に合わせて交流に 参加していきたいです
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	1	2		子ども達の様子や状況を確認しながら参加できるよ うに努めていきたいです
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4	1		送迎時に子どもの様子 を伝えたり、連絡帳での やりとり、必要場合は 電話での対応をしてい ます	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	2	1	保護者から相談が あった場合は、その 都度お話をしていま す		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4	1		契約時に保護者の方 にお伝えしています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	4	1		必要な助言と相談がで きるよう、職員間で話し 合い、お伝えするよう努 めています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			5		今現在、開催することができていないため、検討します
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4	1		適切に対応できるよ う話し合いを行い、そ の日のうちに対応で きるように工夫してい ます	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している		1	4		口頭、連絡帳などでの発信が多いため、わかりやすく 見やすい工夫をして発信にできるよう努めていきたく いです
	35	個人情報に十分注意している	4	1		個人情報同意書に同 意を頂いています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		1	4		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1		子どもの特性に合わせて声掛けを工夫しています	年に2回行っています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	3		虐待事例などを職員間共有していく	研修情報を得ていきたいです
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		4	1		身体拘束を行う子どもがいません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		おやつ時、ダブルチェックをしています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		その日の内で情報共有しています	その日の内で記録ができるように努めていきます

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 15 日

事業所名 みらいちむぐる

保護者等数(児童数) 5 回収数 5 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	5				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4	1			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	4	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4			
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2			
14 個人情報に十分注意しているか	5					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	1	1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2	1		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	5				
	18 事業所の支援に満足しているか	5				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。